

2023. 7. 31

【1次QE予測（23年4-6月期）】

4-6月期 GDP は前期比年率+2.7%を予想

～2023年後半の日本景気は緩やかに回復～



経済調査部 エコノミスト

前田 和孝

ポイント

- 2023年4-6月期実質GDP成長率は前期比+0.7%（年率換算：+2.7%）と、3四半期連続のプラスになったと予想
- 需要項目別では、個人消費が5四半期連続のプラスとなったほか、輸出は2四半期ぶりにプラスに転じたとみる
- 2023年後半の日本景気は、インバウンドを除く外需が下押し要因となるものの、内需が底堅く推移することで緩やかな回復基調をたどると予想

1. 4-6月期実質GDP成長率は3四半期連続のプラスを予想

内閣府から8月15日に発表予定の2023年4-6月期実質GDP成長率は前期比+0.7%（年率換算：+2.7%）と、3四半期連続のプラスになったと予想する。

需要項目別に見ると、まず、個人消費は1-3月期：前期比+0.5%→4-6月期：同+0.2%と、5四半期連続のプラスになったと予想する。食品価格の上昇を背景とする物価高が個人消費の足枷となったものの、5月8日にコロナの感染症法の位置づけが5類に変わったことから、対面サービス関連支出が増加したことなどが押し上げ要因になったとみる。住宅投資は、建築費の上昇などに伴う住宅価格の高止まりが、持家を中心に需要を抑制したとみられることから、1-3月期：前期比▲0.1%→4-6月期：同▲0.1%と、2四半期連続のマイナスを予想する。

設備投資は、軟調に推移する半導体市況が足を引っ張ったものの、脱炭素・デジタル関連の投資需要が下支え役となり、1-3月期：前期比+1.4%→4-6月期：同+0.4%と、2四半期連続のプラスになったとみる。政府最終消費支出は、コロナ関連の医療支出一巡などに伴い、1-3月期：前期比+0.1%→4-6月期：同±0.0%と、横ばいを予想する。公的固定資本形成は、国土強靱化関連の防災・減災工事や災害復旧工事が進捗したことから、1-3月期：前期比+1.5%→4-6月期：同+0.5%と、5四半期連続でプラスになったとみる。

輸出は、インバウンド需要が底堅く推移しているほか、自動車輸出が持ち直したことなどから、1-3月期：前期比▲4.2%→4-6月期：同+2.6%と、2四半期ぶりにプラスに転じたと予想する。輸入は1-3月期：前期比▲2.3%→4-6月期：同▲1.1%と、3四半期連続のマイナスとなり、純輸出の寄与度は+0.7%ポイントのプラス

を見込む。

2. 2023 年後半の日本景気は緩やかに回復

先行きの景気は人流回復と賃上げ、インバウンドの回復等が支えになるほか、秋口以降は物価上昇率がピークアウトに向かうことで、実質所得の安定的なプラス転換が個人消費を押し上げると予想する。

一方、海外景気の動向は不安材料となる。今年の中国景気は冴えない不動産市場が足枷となり、力強さに欠ける推移が続く可能性が高い。米国景気は予想以上の底堅さを見せているものの、今後は FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げの効果が時間差を伴って顕在化することから、減速に向かうと見込まれる。

2023 年後半の日本景気は、インバウンドを除く外需が下押し要因となるものの、内需が底堅く推移することで緩やかな回復基調をたどると予想する。

実質 GDP 成長率予測

(前期比：%)	22/6	22/9	22/12	23/3	→予測	
					23/6	寄与度
実質 GDP	1.4	-0.4	0.1	0.7	0.7	-
前期比年率	5.6	-1.5	0.4	2.7	2.7	-
民間最終消費支出	1.7	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1
民間住宅投資	-1.8	-0.5	0.1	-0.1	-0.1	-0.0
民間設備投資	2.2	1.5	-0.6	1.4	0.4	0.1
政府最終消費支出	0.7	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
公的固定資本形成	0.7	0.9	0.0	1.5	0.5	0.0
民間在庫品増加(寄与度)	-0.1	0.0	-0.4	0.4	-	-0.2
純輸出(寄与度)	0.1	-0.6	0.4	-0.3	-	0.7
財貨・サービスの輸出	1.5	2.5	2.0	-4.2	2.6	0.5
財貨・サービスの輸入	1.0	5.6	-0.0	-2.3	-1.1	0.2
内需(寄与度)	1.3	0.3	-0.3	1.0	-	-0.1
名目 GDP	1.2	-0.9	1.2	2.0	2.6	-
前期比年率	5.1	-3.6	4.7	8.3	10.7	-
GDPデフレーター(前年同期比)	-0.3	-0.4	1.2	2.0	3.9	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●照会先 ● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411